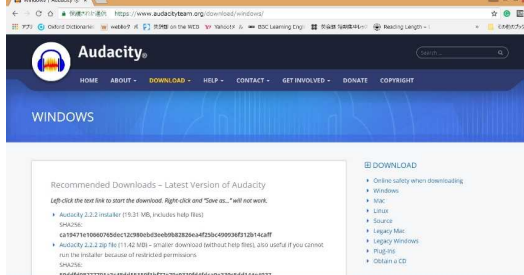


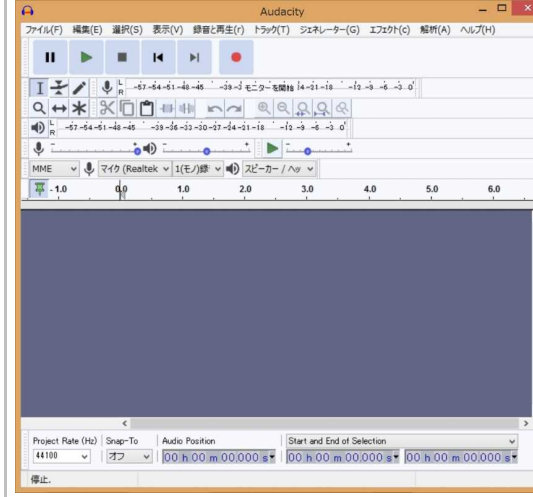


2018/8/5

Audacity というフリーソフトを使って、音声ファイル(mp3)の一部を切り出します。

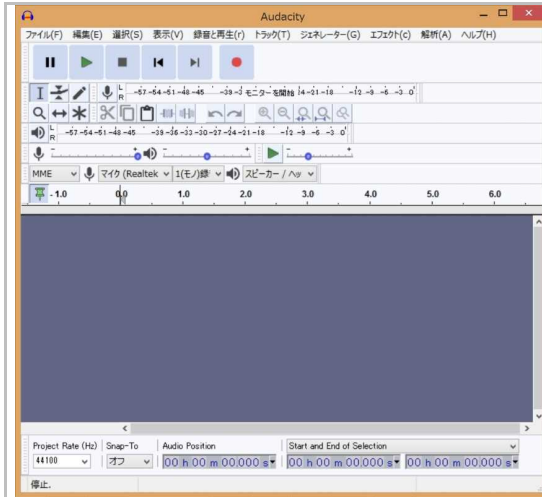
## 1. Audacity をインストール (5分)

	<p>ブラウザで Audacity にアクセス  <a href="https://www.audacityteam.org/">https://www.audacityteam.org/</a></p> <p>DOWNLOAD から WINDOWS を選択          (この手順は Windows です)</p>
	<p>「Audacity 2.2.2 Installer」をダウンロード</p> <p>Google Chrome ではクリックでダウンロードが開始します。</p>
<p>Recommended Downloads – Latest Version of Audacity</p> <p><i>Left-click the text link to start the download. Right-click and "Save as..." will not work.</i></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><b>Audacity 2.2.2 installer</b> (19.31 MB, includes help files)              SHA256:              ca19471e10660765dec12c980ebd3eeb9b82826ea4f25bc490936f312b14caff</li> <li>Audacity 2.2.2 zip file (11.42 MB) – smaller download (without help files), also useful if you cannot run the installer because of restricted permissions              SHA256:</li> </ul>	
	<p>ダウンロードした exe ファイルを実行</p>
	<p>「日本語」が選ばれていることを確認したら、あとは          どんどん次へいけば OK</p>

	<p>インストールの最後の画面。          [完了]</p>
	<p>こんな画面がでたらインストール終わり。</p>

## 2. Audacity で音声ファイルを切り出す

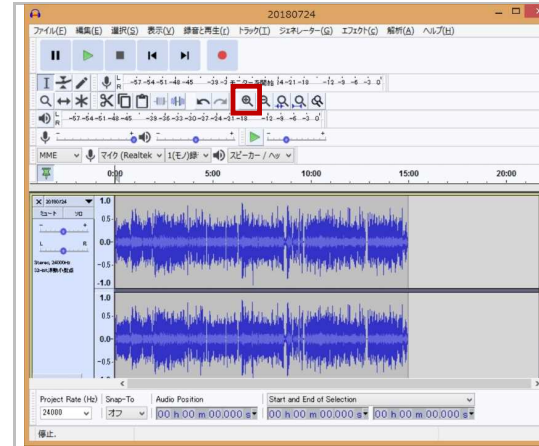
① 任意の箇所を切り出す





Audacityを開いて、

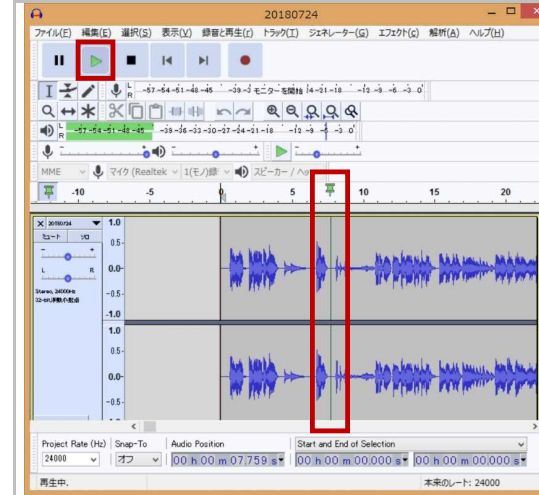


[ファイル]-[開く]  
※お好みの音声ファイルを開いてください。



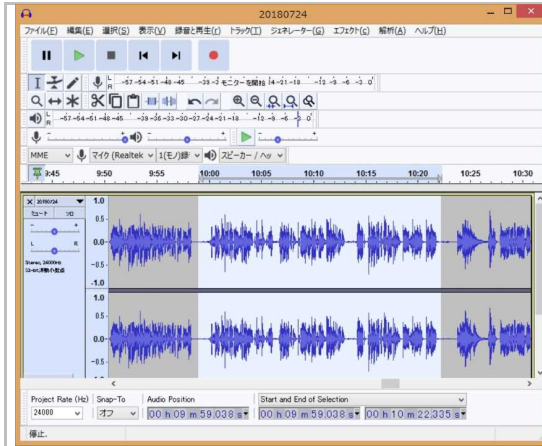
こんな画面が出ます。  
(音声ファイルの波形)

アイコンを6回くらいクリックして波形を拡大します。  
(縮小は右隣のアイコン)

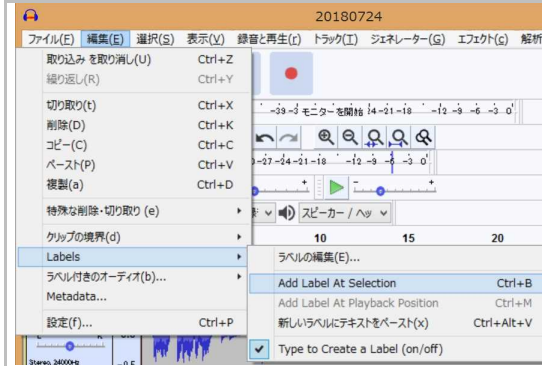


「▶」で再生します。  
(自分が切り出したい部分をさがします)

緑の線が出ているところ、今再生されているところ  
です。

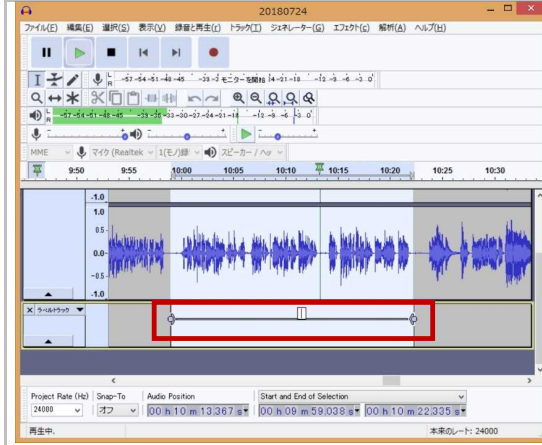


★ラベルの追加  
あたりがつかいたら、切り出したいところをドラッグで選択します。(正確じゃなくても構わない選択)



[編集]-[Labels]-[Add Label At Selection]

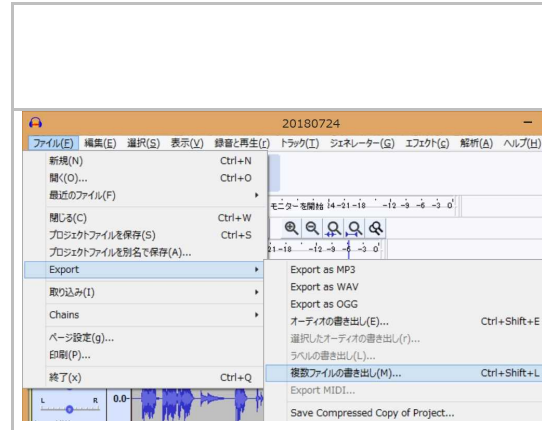
Ctrl+B でも同じことができます。何回もやる場合、このショートカット覚えたほうが早いです



この状態で、再度「▶」を押して、選択されている範囲が正しいかチェック

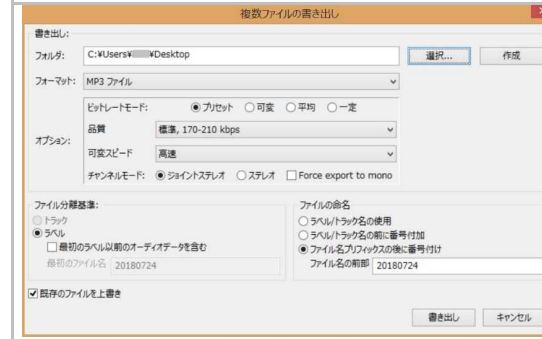
正しくない場合はラベルの両端にあるこのマークの左端は「●>」の「>」のところをドラッグして、任意の位置に変更

- ・拡大して、選択しやすいサイズでやりましょう
- ・ラベルは複数つくれます。また、中央の「|」となっているところで、名前をつけることもできます(たくさん切り出すときは識別のためにラベル名をつけたりする)
- ・選択範囲がラベルから外れてしまったときは、中央の「|」となっているところをクリック



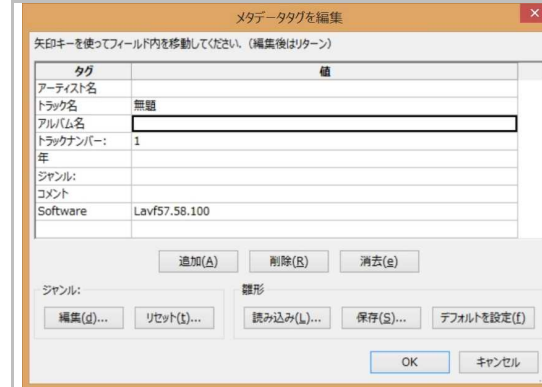
複数切り出したいところがあるときは、「★ラベルの追加」へ戻ってさらにラベルを追加してください。

[ファイル]-[Export]-[複数ファイルの書き出し]



保存したいフォルダを選んで「書き出し」

※ここでは、ファイルの命名は「ファイル名プリフィクス」の後に番号付け



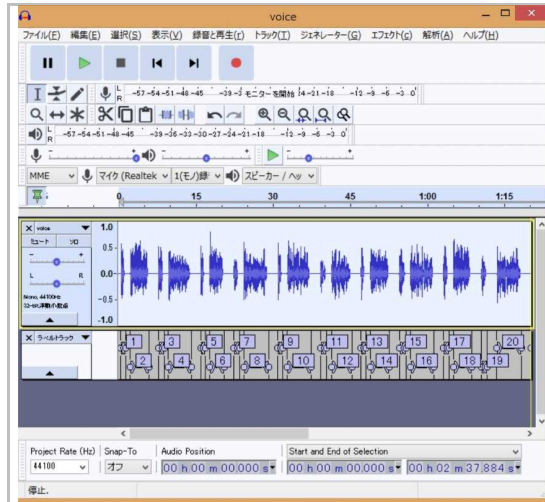
「OK」

	<p>「OK」</p> <p>さきほど選んだ「ファイル名プリフィクスの後に番号付け」だと「元のファイル名-99.拡張子」というファイル名になります (99 のところは 01 から連番)</p>
	<p>できた。</p> <p>慣れるまで、切り出したい部分を搜したり、範囲を選択したりが面倒だと思いますが、「音声編集ってそういう地味な作業」です(笑)</p>
	<p>ちなみに、あらかじめ切り出したいところが、だいたい〇～〇分の間、とわかっている場合は右下の Start と End をいれて再生を始めるといいかも。</p> <p>※左は 10 分～11 分を再生したいとき、10 と 11 をタイプします。Start と End は単独でも指定できます。</p>
	<p>「×」で Audacity を閉じようとする、編集中の状態を project という形式で保存するか聞かれます。</p> <p>(私は同じファイルを編集することはないので、大概「いいえ」で保存しません)</p>

② 等間隔にポーズが入っているファイルを一括でわけ

	<p>このファイルは音声と音声の間に一定のポーズがあります なので、このポーズで切りたい</p>
	<p>[Ctrl]+A で全体を選択してから [解析]-[Sound Finder...]</p>
	<p>「OK」</p> <p>くうまくきれないときは下記をカスタマイズ 26.0db 以下の音は「沈黙」として扱う 0.500 秒以上の「沈黙」を沈黙として認識 ラベルの開始地点は音の始まる 0.100 秒前 ラベルの終了地点は音の終わった 0.300 秒後</p>

Audacity で音声の一部を切り取る



音があるところに自動でラベルがつく

「▶」で再生してみて、問題なければ  
[ファイル]-[Export]-[複数ファイルの書き出し]を  
すればラベルごとにファイルができる